

- ①本人、正保証人、副保証人は、必要事項を黒ボールペンで記入のうえ、自署・押印してください。
 氏名は戸籍または住民票に記載されている文字を楷書で記入し、押印は各自の印鑑を使用してください(同一の印鑑及びスタンプ印は不可)。
- ②正保証人は、日本在住者に限ります。副保証人は、正保証人と生計が同一でない人に限ります。
 *例：同居している父が正保証人 母が副保証人は不可
- ③訂正箇所には二重線を引き訂正印を押し、その上部に正しく書き直してください。

令和 8 年 月 日

京都市立芸術大学長 様

誓 約 書

私は貴学に入学のうえは、貴学設立の目的に従い学則などを守り、人格の陶冶に努めるとともに、芸術の理想に向かってまい進することを誓います。

本人

受 験 番 号			
学 部 ・ 研 究 科 <small>該当箇所に0印をつけてください</small>	美術学部	大学院美術研究科修士課程	大学院美術研究科博士(後期)課程
	音楽学部	大学院音楽研究科修士課程	大学院音楽研究科博士(後期)課程
現 住 所	〒 _____ 都道 _____ 府県 _____		
	電話番号： _____		
ふ り が な			
氏 名 (戸籍等の字体で記入)	Ⓜ		
生 年 月 日	年	月	日生

上の者が在学中に、誓約書に反したことによって生じた一切の事項に関する責任は私どもにおいてお引き受けいたします(極度額*：500万円とする。)

正保証人(父母またはこれに準ずる人)

現 住 所	〒 _____ 都道 _____ 府県 _____		
	電話番号： _____		
ふ り が な			
氏 名	Ⓜ		
生 年 月 日	年	月	日生
本人との関係			

副保証人(副保証人は、正保証人と生計が同一でない人に限ります。)

現 住 所	〒 _____ 都道 _____ 府県 _____		
	電話番号： _____		
ふ り が な			
氏 名	Ⓜ		
生 年 月 日	年	月	日生
本人との関係			

※極度額について

令和2年4月1日から施行される改正民法において、保証人についての見直しが行われました。本学では、正・副両保証人に対して、学生の在籍期間中に当該学生に関する一切の責任を引き受けていただくようお願いしておりますが、このような将来生じるおそれのある不特定の債務を保証する場合には、改正民法において「極度額（上限額）」を定めることが義務付けられたため、誓約書に極度額を記載いたしました。

極度額には、授業料等の支払が滞った場合や、学生が大学に損害を与えた場合（器物損壊等）に、保証人が負担する必要がある上限の額を示し、金額は在学年限分の授業料相当額（学部6年、修士課程3年、博士（後期）課程5年）を元に将来の要素を考慮して算定しています。